

山登りのスペシャリスト(敬称略)

5区山登りのスペシャリストは、山の神(初代:今井正人:順天堂、二代目:柏原竜二:東洋、三代目:神野大地:青山学院)だけではありません。

戦前、八島健三は高校生でアントワープ五輪に出場。日本大学入学後6回の内4回5区を走り、3回区間賞を獲得しました。山の職人と言われた鈴木房信は、6年連続5区を走り、5回の総合優勝に貢献。2年時にはベルリン五輪の10000mに出場しています。戦後間もなく、中央の西田勝雄も6年連続5区を走り、区間賞3回、総合優勝4回を誇る中央の黄金時代の主軸を担いました。

元祖山の神と言われている大東文化の大久保初男が4年連続区間賞で、総合初優勝と2連覇に貢献したことから、山登りが特に注目されるようになりました。他にも、長田正幸(東京教育)、大塚癸未男(順天堂)、上田誠仁(順天堂)、金(木下)哲彦(早稲田)、奈良修(大東文化)等がいます。

高速化と山のスペシャリスト育成が進み、驚異的と言われた神野の記録も、99、100回大会で次々と更新されました。そして、山の妖精:山本唯翔(城西)、若の神:若林宏樹(青山学院)、クライミングモンスター:吉田響(創価)、山の名探偵:工藤慎作(早稲田)等、新たな山登りのスペシャリストが次々と誕生してきています。101回目も、新たな神の誕生を期待しましょう。

【八島健三 1902.4.6-1979.10.17】明治~安田生命

6年連続出場、1925年から4年連続で5区を走り、区間賞5回、総合優勝3回。小樽中学校(現小樽湖陵高等学校)在学中の1920年にアントワープ五輪マラソン出場、21位。

【山の職人:鈴木房信 1914.2.15-1945.6.3】日本~フィリピンのルソン島で戦死

1935年から6年連続5区を担当し、区間賞4回、5度の総合優勝。1936年ベルリン五輪出場。

【西田勝雄 1929.1.24-2001.10.22】中央~九州電工

1948年から6年連続出場、1950年から5区を担当、区間賞3回、総合優勝4回。

1952年ヘルシンキ五輪マラソン ポストンマラソン 1953年4位、1954年5位。

【長田正幸】東京教育~八幡製鉄

4年連続5区、3回区間新。1962年毎日マラソン(びわ湖毎日)優勝。アジア大会10000m優勝

【元祖山の神:大久保初男 1955.2.26-】大東文化~大昭和製紙~仙台大学

4年連続区間賞(内3回区間新)の圧倒的な強さを見せ、ミスター山登り、登山家、スーパースターなどと呼ばれた。現在は、元祖山の神と言われています。

【金(木下)哲彦 1964.2.1-】早稲田~リクルート~ニッポンランナーズ~プロランナー

4年連続5区を走り、区間賞2回、総合優勝2回。現在は、マラソンやオリンピックの解説者、NHKBSの「ランスマ倶楽部」等で、マラソンや長距離の普及に貢献しています。

【初代山の神:今井正人 1984.4.2-】順天堂~トヨタ自動車九州

2年時、初の山登りで1時間10分切、11人抜きを達成。区間賞3回、総合優勝1回。

【二代目山の神:柏原竜二】東洋~富士通

4年連続区間賞。総合優勝3回。圧倒的な存在感を見せ、新山の神、山の神童とも呼ばれました。

【三代目山の神:神野大地 1989.7.13-】青山学院~コニカミノルタ~セルロース~M&A ベストパートナーズ

柏原の記録を更新、総合初優勝。驚異的な記録から三代目山の神と呼ばれました。

【新たな山のスペシャリスト】99回から記録ラッシュ

●99回区間新 山本唯翔(城西) 1:00:04、四釜俊佑(順天堂) 1:10:19

●100回区間新 山本唯翔(城西) 1:09:14、若林宏樹(青山学院) 1:09:33

山のスペシャリストたちの箱根駅伝の記録

(コースや距離の変更が度々あり、単純にタイムの比較はできません)

八島健三(明治)

鈴木房重(日本):山の職人

西田勝雄(中央)

回	区	順	タイム	総合順
4	3	①	1:19:20	新④
5	10	①	1:18:43	①
6	5	①	1:45:34.8	新①
7	5	①	1:42:43.2	新②
8	5	①	1:50:38	③
9	5	④	1:43:12	①

回	区	順	タイム	総合順
16	5	①	1:37:18	新①
17	5	①	1:37:51	①
18	5	①	1:31:46	新①
19	5	①	1:32:32	①
20	5	③	1:35:22	②
21	5	②	1:40:46	①

回	区	順	タイム	総合順
24	5	②	1:45:04	①
25	5	⑩	1:57:22	④
26	5	①	1:30:10	①
27	5	①	1:32:16	①
28	5	①	1:33:45	②
29	5	②	1:28:48	①

長田正幸(東京教育)

大塚癸未男(順天堂)

大久保初男(大東文化):元祖山の神

33	5	①	1:30:55	④
34	5	③	1:30:37	③
35	5	①	1:25:47	新③
36	5	①	1:26:42	④

39	5	⑧	1:32:59	⑤
40	5	⑧	1:27:46	⑤
41	5	④	1:26:25	③
42	5	①	1:18:31	①

50	5	①	1:13:41	新②
51	5	①	1:12:02	新①
52	5	①	1:12:35	①
53	5	①	1:11:48	新③

上田誠仁(順天堂)

金(木下)哲彦(早稲田)

奈良修(大東文化)

55	5	①	1:14:40	①
56	5	①	1:12:41	②
57	5	②	1:14:22	①

59	5	②	1:13:03	②
60	5	②	1:13:27	①
61	5	①	1:11:59	新①
62	5	①	1:12:01	②

66	5	①	1:12:47	①
67	5	②	1:13:54	①
68	5	①	1:11:13	⑤
69	5	⑫	1:17:15	⑮

今井正人(順天堂)初代山の神

柏原竜二(東洋)二代目

神野大地(青山学院)三代目

80	2	⑩	1:10:10	⑤
81	5	①	1:09:12	新⑤
82	5	①	1:18:30	④
83	5	①	1:18:05	新①

85	5	①	1:17:18	新①
86	5	①	1:17:08	新①
87	5	①	1:17:53	②
88	5	①	1:16:39	新①

90	2	⑥	1:09:44	⑤
91	5	①	1:16:15	新①
92	5	②	1:19:17	①

参考文献: 出典 ① 関東学生陸上競技連盟『箱根駅伝80回大会記念誌』2004年 ② Wikipedia

③ 箱根駅伝公式サイト ④ 読売新聞オンライン、2024年11月7日アラカルト箱根駅伝